

令和2年度 学校関係者評価書

学校名	和歌山市立伏虎義務教育学校
作成日	

1 教育目標

心豊かで、自ら学び、夢と希望を持ってたくましく生きる人間の育成

2 学校自己評価についてのご意見

	進んで学び、しっかり考える子供	心豊かで、思いやりのある優しい子供	健やかに、たくましく生きる元気な子供	地域とともにある学校
指標	和歌山県到達度調査 学校評価アンケート ・毎日の勉強がわかる。 ・授業は楽しく分かりやすい。 ・話し合いを通じて考えを深め広げる。 ・資料や文章、話の組立てを工夫して発表できる。	学校評価アンケート ・学校が楽しい。 ・私はそうじを一生懸命している みんなそうじを一生懸命している。 ・誰にでもあいさつができる。 みんな気持ち良いあいさつをしている。	学校評価アンケート ・学校は、子供の安全確保・健康管理のための取組を行っている。 ・学校は、将来の進路や職業について適切に指導している。	学校評価アンケート ・学校は、子供の活動の様子を、保護者に分かりやすく伝えている。
重点目標に対する	・勉強が分かることは、毎日の学校生活の基本であると思う。子供によって理解の差もあると思うが、普段の取り組みを大切にしたい。	・子供たちの良いところ、成長をしっかりと認めて「ほめる」ことがとても大事だと思う。学校だけでなく、家庭での子供へのことばかけをもっと大切にしていかなければならない。 ・清掃は、子供達にとって、豊かな心を養う、心の清掃にもつながると考える。	・地震や事故が発生したときに、自分の力で対応できるように子供たちを育ててほしい。 ・子供たちが色々な経験を積んで、自分の夢を広げていく教育環境を作ってほしい。	・学校の様子を引き続き地域にしっかり発信してほしい。
取組状況に対する	・学校図書館には本もたくさんあり、部屋も広々としているし、明るいし、子供たちにはこの恵まれた環境でしっかり本を読んでほしい。 ・自分自身またはグループで考え、高見に支店を置くことは、これからの成長にとってとても大事なことで役立つと思います。	・アンケートによると7割前後の生徒が学校が楽しいという意見でとてもいいことだと思います。コロナ禍の中で先生方もいろいろ工夫されたり、ご苦労されていると思います。 ・卒業式も大変でしょうが、卒業生が心に残るよ意識をさっそうなさってください。	・食を通して、子供達が交流できる場を大切にしたい。 ・9年間の義務教育を通した防災教育をロードマップ化してもよいのではないかと。	・伏虎通信は毎月拝読しています。学校の行事や子供たちの頑張っている様子がよくわかります。
取組の適切さの検証結果	・「話し合いで考えを広げる」活動は難しいことかもしれないが、これから子供たちが身につけなければならない大切な力だと思う。	・何事においても、後期生が前期生の良いお手本になるように頑張してほしい。	・不審者対応への取り組みについてはこれからも継続してよりベターな方策を考えてほしい。 ・成長盛りの子供にとって、食育は大変有意義と考える。	・3地区の横のつながりを強化し、子供を中心に地域みんなが学校に協力していきたい。
改善年度法に反対する意見	・少人数での学習、個別の学習など、工夫をして子供たちに意欲を持たせていると感じました。 ・鍛冶屋町ブルーの写真展を見ました。映像もあり、とてもよく活動が分かりました。子供たちはとてもキラキラしていました。	・いじめなくそうデー、道徳の時間を大切に、豊かな心を持った子供を育ててほしい。	・大災害に備え、様々な状況での避難訓練を考えてほしい。 ・SNSの世界から子供を守らなければならない。携帯電話、スマホの使い方を積極的に学ばせる指導もしてほしい。	・学校の様子を知りたい。学校からのお便りやHPをもっと充実させてほしい。 ・学校ボランティアが必要な場合、運営協議会がコーディネートできるように協力していきたい。

3 その他のご意見

・子供たちはとても明るく素直そして笑顔。これは、家庭での生活の表れであると考えられますが、学校での先生方、職員室の和やかさが伝わって、子供たちの表情に出ているように感じられました。
・義務教育学校になって初めて授業参観させていただき、廊下で合った子供たちはみな挨拶をしてくれて心地よい一日のスタートとなりました。
※いじめ等は大きくなる前に先生方が対応しているとお聞きして安心しました。